

事業番号	141
------	-----

平成24年度事業評価シート（平成23年度事業の評価）

1. 事業の概要

事業名	南部幹線(小名川)整備事業			担当課	道路河川課		
事業期間	開始年度	平成17	～	終了予定年度	平成25	担当係	整備係
総合計画	めざすまちの姿	調和のとれた便利なまち					
	目標	生活の要は道路（道路）					
	成果指標	湖西警察署管内交通事故の年間発生件数		中間目標 (H27)	355件	最終目標 (H32)	
予算区分	一般会計	8 款 土木費	2 項 都市計画費	3 目 街路事業費			
	細事業	193 街路等整備費					
位置づけ	関連計画						
	根拠法令	道路法・都市計画法					
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input type="checkbox"/> その他						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施・運営 <input type="checkbox"/> 一部又は全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他（						
対象(誰のため)	<input checked="" type="checkbox"/> 全市民 <input type="checkbox"/> 特定の市民 <input type="checkbox"/> 特定の団体 <input type="checkbox"/> その他						
事業の目的(何のため)	鷲津駅前土地区画整理事業などの周辺事業と併せた整備を進めることにより、街路の一体的な整備を図る。						
内容(概要)	街路整備事業 計画延長 L=253m 事業延長 南部幹線 L=209m W=15~18m 三ツ谷一の橋線 L=44m W=17m (残事業 L=90m)						
これまでの改善・見直しの状況	駅前土地区画整理事業に併せ都市計画街路の整備を行うことにより、利用者の安全と利便の向上が図られる。 H17 測量設計 H18 用地調査、用地補償 H19~23 用地補償、工事						

2. コスト

(単位:千円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度事業費
事業費	予算	72,846	1,500	51,861	(内訳)
	決算	70,473	0		普通建設事業費(土地購入費)
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	17,000		12,050	
	地方債	48,400		32,500	
	その他				
	一般財源	5,073		7,311	
職員人件費	3,266	2,282	2,476	人工	0.3 人

### 3. 事業の評価

#### 事業の実施状況

活動指標	内容	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率
	街路整備事業		目標		計画区間の完了	
実績						
		目標				
		実績				
		目標				
		実績				

平成23年度 活動内容	南部幹線(小名川)整備事業 鷺津地区と表鷺津地区を結ぶ都市計画道路を整備することにより、都市基盤の強化と安全性の向上等、生活基盤の改善を図る。 ・工事 施工延長 L=30m 側溝工 L=32m (繰越)					
課題・問題点 となった事項	(国)301号小名川交差点までの事業はH24で完了となるが、三ツ谷一の橋線交差点からJR富士見橋までについては、用地交渉が難航しており継続ができない状況な為、事業継続について判断が必要となる。					
どう対処したか	本路線の事業認可期間がH25までとなっており、期間内に進展する可能性は少ない。					
改善点	国道301号小名川交差点及び三ツ谷一の橋線交差点の改良により、利用者の安全と利便が図られ都市基盤が改善される。				効果額 H24-H23 (千円)	

自己評価	事業目的の 達成状況	移転物件の遅れから繰越予算対応となる。(事業進捗に影響はない。)				
	※必要性 事業を廃止・休 止したときの影響	国道301号道路整備等の関連事業との整合がとれなくなり街路機能が失われ、基盤整備が図られない。				
	判定	<b>A 継続</b>	現行の内容で実施	事業主体	市	
	判定理由	市民の安全性、利便性を図っていくうえで、補助事業を活用し継続的整備を進めていく必要がある。				
	今後の方向性	街路事業の早期完了に向けた計画的な取組(事業認可区域事業の休止検討)				